

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 40 週(9 月 29 日～ 10 月 5 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.59	(2.06)	➡	↗	↘	↓
2	RSウイルス感染症	0.94	(0.56)	↑	↑	↑	↑↑
3	A群溶連菌咽頭炎	0.71	(0.71)	➡	➡	↗	↑
4	突発性発しん	0.62	(0.62)	↗	↗	➡	↓
5	水痘	0.41	(0.50)	➡	➡	↗	➡

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの報告は、先週に引き続き葛城保健所と今週は新たに奈良市保健所からもありました。奈良市内の小学校でインフルエンザの集団発生による学級閉鎖がありました。当保健研究センターの検査の結果、A香港型であると確認しています。インフルエンザ定点当たり報告数は近畿で最多です。

RSウイルス感染症は先週からさらに増加しています。患者は3歳未満の子どもが90%以上を占めています。5週連続して例年より高いレベルで推移しています。大阪、兵庫、三重県でも多い状況です。

これから寒さが増すとRSウイルスやインフルエンザが流行します。風邪をひいている人は周りの人に広げないようにマスクを着用しましょう。人が多く集まる場所から帰った際には手洗い・うがいといった基本的対策を心がけて下さい。

♣ 小児科外来情報 ♣

北部地区(矢追医院)

ヘルパンギーナなどの夏風邪は無くなり、気候の変わり目と台風の接近で喘息関連の来院が目立つが、それ以外目立った感染症はない。RSウイルス感染症もみられない。今週になって、インフルエンザA型の子がでてきている。症状は例年通りで高熱と咳と鼻水がある。一部の学校で学級閉鎖となっている。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数はすこしずつ増加。急増という程でない。
運動会前後で軽度の感冒の受診も多い。RS 気管支炎もその増加はない。
感染性胃腸炎もわずか。ロタウイルス様も見られない。
流行性耳下腺炎、水痘、A群溶連菌感染症などが少しずつ見られる。
インフルエンザはまだない。

南部地区(県立五條病院小児科)

軽症だが遷延する呼吸器感染症が多い。
RSウイルス感染症と思われるものはあまりない。
下痢主体の胃腸炎や水痘が散見された。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 40 週 9 月 29 日 ~ 5 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	9 (0.17)	5 (0.45)			4 (0.36)			
小児科定点数	35	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	32 (0.94)	4 (0.57)	9 (0.90)	3 (0.43)	12 (1.71)		4 (2.00)	
咽頭結膜熱	13 (0.38)		3 (0.30)	1 (0.14)	9 (1.29)			
A群溶連菌咽頭炎	24 (0.71)	12 (1.71)	4 (0.40)	3 (0.43)	2 (0.29)	1 (1.00)	2 (1.00)	
感染性胃腸炎	54 (1.59)	15 (2.14)	19 (1.90)	11 (1.57)	9 (1.29)			
水痘	14 (0.41)	3 (0.43)	2 (0.20)	2 (0.29)	6 (0.86)	1 (1.00)		
手足口病	5 (0.15)		2 (0.20)		3 (0.43)			
伝染性紅斑	5 (0.15)	1 (0.14)	3 (0.30)		1 (0.14)			
突発性発しん	21 (0.62)	11 (1.57)	3 (0.30)	5 (0.71)	2 (0.29)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	8 (0.24)		7 (0.70)		1 (0.14)			
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.14)	2 (0.20)					
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	7 (0.78)			7 (3.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、葛城1、吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(葛城1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(葛城1) 侵襲性インフルエンザ菌感染症侵襲性1件(奈良市1) カルバペネム耐性腸内細菌感染症1件(奈良市1)

❖ 第40週のトピックス ❖

デング熱の国内感染発生状況について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever_jirei.html

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男								1			1	2	1		1						6	5977
	女											1	1									3	5987
RSウイルス感染症	男		4	5	2	1		1														17	202
	女		3	5	3	1																15	165
咽頭結膜熱	男			1	1	2	2	2		1												9	462
	女				2	1									1							4	371
A群溶連菌咽頭炎	男					1	2	1	2	1		2	2									10	710
	女					1	1	4	1	1		5				1						14	636
感染性胃腸炎	男		4	4	4	1	4	3		1	1	1	2	2		4						31	3089
	女		3	5	1	3							3	3	5							23	2828
水痘	男		1	1	2	1																8	546
	女		1	2	2	1		1	1													6	477
手足口病	男			2	1																	3	93
	女			1	1																	2	71
伝染性紅斑	男			1			2															3	49
	女					2																2	47
突発性発しん	男		1	3	5																	9	253
	女		6	5	1																	12	213
百日咳	男																						
ヘルパンギーナ	男			1	1		3															5	662
流行性耳下腺炎	男			1	1																	3	592
流行性耳下腺炎	女					1																1	86
急性出血性結膜炎	男																					2	79
流行性角結膜炎	男					2																3	73
流行性角結膜炎	女					2										1	1					4	96
細菌性髄膜炎	男																						6
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						5
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						4
	女																						4
クラミジア肺炎	男																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						18
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	女																						18

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〰 過去10年平均

